amazing THAILAND

Always Amazes You

UP DATE : 2012-2013 Vol.13 No.46

昨年は日本人旅行者数が130万人を超えるなど、好調だったタイマーケット。タイ国政府観光庁は新たな素材の開発も積極的だ。昨年11月にバンコクの北東部に広がる森林地帯カオヤイでトラベルマートが開催された。カオヤイは、まだほとんど商品化されていない緑溢れるリゾート地。バンコクからも近く、観光インフラも充実している。

「The Ultimate Khao Yai」でカオヤイの魅力発信

トラベルマートに約100の旅行会社とメディアが集結

グリーンリゾート需要を掘り起こし

タイ国政府観光庁（TAT）は昨年11月26～28日に、バンコク北東部のカオヤイで「The Ultimate Khao Yai」トラベルマートを開催した。カオヤイはバンコクから車で約2時間半ほどの所にあり、ナコーンラーチャシーマー県、サラブリー県など6県をまたぎ、カンボジア国境まで広がる広大な森林地帯である。カオヤイ国立公園はユネスコ世界遺産にも登録されているタイで最も古い国立公園だ。

このトラベルマートには、日本をはじめ中国、韓国、香港、台北、インド、ベトナム、シンガポール、マレーシアといったアジア太平洋諸国から61のバイヤーと29のメディアが参加、商談会や意見交換会が行われた。“Ultimate＝究極のカオヤイ”と名付けられたこのトラベルマートは2013年のTATのマーケティング戦略に沿ったもので、タイの自然や環境アトラクションをアピールし、ビーチリゾート以外の観光地に旅行者を誘致するのが狙いだ。

観光インフラの充実

カオヤイ観光の起点となるナコーンラーチャシーマー県パクチョンへの訪問者数は2011年で215万7035人。そのうちタイ人は212万9789人、外国人は2万7246人だった。カオヤイは200以上のホテルや宿泊施設があり、4つのソフトアドベンチャーパーク、200以上のレストラン、3つのショッピングモール、20以上の旅行会社、6つのゴルフコースと2つの巨大なワイナリー、会議施設は最大1000人に対応が可能と観光インフラが整っている。この地域は、1980年代のタイの高度経済成長期ごろに、主にバンコク在住者の観光保養地として人気が高まった。ビーチリゾートのパタヤに対して、グリーンリゾートとして国立公園を中心に開発が行われ、現在でもタイ人からは人気のリゾート地であるため、受け入れ施設が充実している。

TATはカオヤイの魅力について、①観光地の多様性（家族、新婚旅行、ハイエンド、ゴルフ、自然愛好家などに対応）、②世界遺産カオヤイ国立公園、③アクセスが良い、④受け入れが充実している、⑤ラグジュアリーな宿泊施設も充実、⑥自然と調和している、⑦人々が温かく歓迎してくれる—など7つのポイントを挙げている。

トラベルマート開催の挨拶に立ったサンスーン・ガオランシー副総裁は、「このイベントをきっかけに多様性のあるカオヤイを知ってほしい。旅行会社も積極的に商品造成を行ってほしい」と訴えた。

国立公園とワイナリーで熟年をターゲットに 意見交換会で日本の旅行会社もプレゼン

旅行会社と現地サプライヤーの商談会後、意見交換の場があった。日本からはTATのオフィスのある東京、大阪、福岡の3都市から旅行会社の担当者がそれぞれ1人ずつ、プレゼンテーションを行った。

そのなかで、カオヤイ国立公園とワイナリーについては評価が高く、タイでしか見ることのできない自然、トレッキングツアーなどを作りたいという点では一致している。ワイナリーは国立公園と共に、主に熟年層で健康意識が高い人、ワインや食文化に興味のある人に勧めたいとしている。

宿泊施設に関しては、ラグジュアリーでゆったりとリゾート滞在のできるキリマヤゴルフリゾート＆スパや、手頃なグリーナリーリゾートなどサービスや施設については、どのセグメントにも訴求できる。

バンコクから2時間半という車での移動は許容範囲。個人で気軽に行ける所ではないので、旅行会社としては、むしろチャンスという意見があった。ただ、明確な目的を持った旅行者でないと、その移動時間は比較的長く感じられるかもしれない。

問題点としては、カオヤイを案内できるガイドが少なく、現地情報も少ないことや、バンコクからガイドを移動させるとコストがかかるためツアーが割高になってしまうところだ。また、宿泊施設については、熟年層にはツインベッドルームの確保、シャワーだけでなくバスタブも必要であるといったものが挙がった。ホテルから観光地へのコミュニティーバスを走らせたらどうかという意見や、バンコクやピーマイ遺跡と組み合わせたツアーの提案もあった。

東京代表としてプレゼンに立った日新航空サービスの渡辺正志氏

ダイナミックに流れるヘウナロック滝

数々の野生動物に出会うことができる

グラモンテ・アソークヴァレーのぶどう畑

国立公園内には専用のトレッキングコースもある

ぶどう畑から醸造の過程まで見学が可能

ダイナミックな自然溢れるカオヤイ

オプショナル素材も充実

バンコクから車で走ること約2時間半。鬱蒼と緑が生い茂る「カオヤイ国立公園」が広がる。カオは「山」、ヤイは「大きい」という意味だ。気候もバンコクの厳しい日差しと違って、涼しく過ごしやすい。国立公園周辺はタイ人に人気のグリーンリゾートだが、日本人旅行者にも楽しめる要素が多くある。ここからはカオヤイの魅力を紹介しよう。

世界自然遺産に登録されている国立公園

カオヤイ国立公園は05年にユネスコの世界自然遺産に登録されており、その85%が森林に覆われている。森林は約95種の樹木から成っており、湿生常緑樹林が公園の70%を占める。国立公園に入るとすぐに野生のサルが近くに寄ってきたり、なんでもないような顔をして野生のシカが歩き、その辺に生えている草を食む、そんなシーンが日常的に見られる。もちろん野生動物の餌付けは禁止だ。

園内にはゾウやトラなど野生生物が豊富で、05年の世界遺産の登録の際には、112の哺乳類、392の鳥類、200の両生類と爬虫類が発見されている。また、サイチョウの仲間やズアカキネバドリなど美しく希少な野鳥も生息しており、野鳥ファンにはお勧めのバードウォッチングスポットである。こうした野生動物を見に行くオプショナルツアーやナイトサファリもある。

園内は巨大な滝が数多くあり、トレッキングツアーでそうした滝を巡ることも可能だ。カオヤイで一番大きいとされる落差最大150mのヘウナロック滝は、国立公園の入り口ゲートから車で約15分ほど走れば駐車場。そこから滝壺まで歩いて行くこともできる。

タイを代表するハイレベルのワイナリー

カオヤイにはタイを代表する2つのワイナリーがある。タイでワインというのも少々意外だが、比較的涼しいこの地域はワインの生産に適している。1～3月にぶどうを収穫。約8カ月熟成させればワインが完成だ。味は、全般的にスパイシーで、タイ料理にもよく合う。

PBバレー・カオヤイは国立公園の端に位置し、カオヤイのワイン発祥の地だ。1998年にタイ初のワイン「カオヤイ」を造り、00年には改良を重ね「PB Khao Yai Reserve」と改名。今では、さまざまなブランドが生産され、その中の「PIROM」は2012年のオーストリア、ウィーンで開かれたワイン・チャレンジAWCで銀賞を獲得したという実力の持ち主である。また、タイで初めての女性のワイン醸造家、ニッキ・ロヒトナヴィー率いるグラモンテ・アソークヴァレーも01年からワインを販売。こちらも国際的なワイン品評会で数々の賞を受賞している。

これら2つのワイナリーは、ぶどう畑から生産、醸造までの過程が見学できるツアーも催行しており、見学の後にワインのテイスティングも可能。レストランも併設しており、ワインに合った食事を楽しむことができる。

PBバレー・カオヤイ　www.khaoyaiwinery.com
グラモンテ・アソークヴァレー　www.granmonte.com

さまざまな層に対応可能な宿泊施設

宿泊施設の数も多い。高級リゾートホテルから家族向けのリゾートホテル、コンドミニアムまでさまざま。キリマヤゴルフリゾート&スパはゴルフ場が隣接しており、ホテルステイをじっくり楽しむ旅行者にはお勧めの最高級リゾート。

樽に詰めワインが熟成するのを待つ。室内は18℃に保たれている

もちろんワインの購入コーナーも

[PR]

キリマヤリゾートのゴルフ場はジャック・ニクラス氏がデザイン

ヴィラタイプの部屋の中央には大きなスパプール(キリマヤ)

緑に囲まれたグリーナリーリゾート

旅行者がのんびりと滞在を楽しんでいた(キリマヤ)

家族での滞在におすすめ(グリーナリーリゾート)

ゴルフ場はあのジャック・ニクラスがデザインしたコースで18ホール・パー72。もちろんタイのゴルフ場なので、サービスもタイ式である。多くの緑に囲まれ、時がゆっくりと流れる極上のリゾートステイが楽しめる。キリマヤから車で約5分、同じ系列のムティマヤは隠れ家的なリゾートホテル。部屋は全室プールヴィラタイプで、建物は落ち着いた雰囲気で大自然に調和したデザイン。こうしたホテルに長期で宿泊し、グリーンリゾートを満喫するのもよい。

もう少しリーズナブルなリゾートホテルもある。家族向けには、施設内に巨大なウォータースライダーがあるグリーナリーリゾート。カップル向けには、ホテル内の至る所に音符のモニュメントがあり、かわいらしいデザインのザ・ピアノ・リゾートなど、幅広い層に対応可能だ。

キリマヤリゾート　www.kirimaya.com
グリーナリーリゾート　greeneryresort.com

タイでカウボーイ体験？

この地域は牛の放牧などに向いている土地であることから牧場が多い。そこで生産された製品は、タイ国内ではブランドが定着しており、人気が高い。それらの牧場では、バーベキューレストランや農場体験などを楽しむことができる。そのひとつ、チョクチャイファームは、この地方最大規模の観光牧場である。平日は地元の子供たちの遠足客、休日は家族連れなどでにぎわう。この牧場の“Umm!.. Milk”ブランドの牛乳やアイスクリームはタイ国内でも有名だ。

チョクチャイファーム名物“Umm!..Milk”

巨大な農場チョクチャイファームではさまざまな体験が可能

観光客の受け入れが整っており、入場すると見学はツアー形式でトロリーバスに乗って行くことになる。乳搾りや牛乳の作り方、カウボーイショー、アニマルショー、小動物にえさをあげたりもできる。今回のトラベルマートの前夜祭が行われたパーサークリークリゾートもカウボーイをテーマにした宿泊施設で、バーベキューブッフェやさまざまなショーも楽しむことができた。団体旅行のサプライズにカウボーイパーティーは、その意外性からも盛り上がるだろう。

パーサークリークリゾートのバーベキューブッフェ

ROYAL ORCHID HOLIDAYS
ROHとは、タイ国際航空が手がける信頼のツアーブランドです。
日本地区販売総代理店　株式会社エーアンドエー
THAI

タイ専門店のA&Aにお任せください!
2013上期(4月～9月)ロイヤルオーキッドホリデイズ
札幌発着コースも新規設定!(札幌、東京、大阪、名古屋、福岡発着の5都市設定)
エコノミークラス利用のお客様でも、ビジネスラウンジ利用可能!(バンコク)
2013上期(4月～10月)Refre・リフレ(東京・大阪・福岡発着)
お客様のニーズに合わせた、オリジナルコース、特典満載の商品です!
スタイリッシュなシティコース、至福のヴァカンスを過ごすビーチリゾートコース!
※上記パッケージ商品のご請求をお待ちしております!
TGスーパーディール(PEX)運賃エコノミークラス35,000円、ビジネスクラス125,000円 ※詳しくはお問合せください。
登録無料　AA AGT　検索
タイ専門店、A&Aのエージェント・ウェブ・サイトでは、タイ国際航空(TG)タリフやイベント情報、タイ王国及びタイ国際航空の最新情報などが満載です。
さらにロイヤルオーキッドホリデイズ、リフレの電子パンフレットもご覧いただけます。

〈リフレ商品〉

発売開始!
パンフレットオーダーは電話、FAX、メールで!

A&A 株式会社エーアンドエー
本社:〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6階
観光庁長官登録旅行業 第1289号

東京本社 03-5550-0180
大阪営業所 06-6535-0820
名古屋営業所 052-955-0881
福岡営業所 092-771-2410
※札幌発は東京で受付いたします。

Interview

外国人の旅行者にも“グリーンリゾート”カオヤイを

サンスーン・ガオランシー副総裁
撮影／村山勉（QUICK）

カオヤイは日本でいうと、軽井沢や八ヶ岳のような所です。タイ人にとっては家族で楽しむ週末リゾートといった感じでしょう。そのためインフラが整っており、受け入れの体制もしっかりしております。今後は日本人をはじめ、外国人に利用してもらえるような仕組みを作っていきたいと思っています。

日本の旅行会社の商品はまだほとんどないのが実情ですが、バンコクから近いグリーンリゾートとして、商品化を進めていきたいと思っています。また、日本人旅行者にお勧めしたいのはゴルフ。この地域には6つのコースがありますが、アップダウンがあるコースが多く、フェアウェイは狭く、日本人にとってチャレンジングなコースとなるでしょう。タイでゴルフは1年中プレイできますが、10～3月は乾季ですので、ゴルフには最も良い気候だと思っています。

カオヤイの一番の目玉は国立公園ですが、国立公園を訪れた後のエンターテイメントが多いのも魅力です。主なターゲットはファミリーやカップル。国立公園やワインと食はシニアの旅行者にぴったりです。

多様性あるカオヤイだからこそ、さまざまな旅行者を誘致することができるのではと考えています。

TOPICS

さっぽろ雪まつりで ワット・ベンチャマボピットが出現

第64回さっぽろ雪まつりが2月5～11日に開催された。大通り公園の7丁目広場がHBCタイ王国広場となり、バンコクの観光名所であるワット・ベンチャマボピット（大理石寺院）が雪で作られた。TATは同広場内にブースを出展、タイマッサージの体験コーナーや観光案内などを行った。最近タイではテレビ等現地メディアで北海道がよく紹介されており、北海道旅行の人気が高まっている。それに合わせてTATは2月6日、札幌市内のホテルで旅行業界向けにタイナイトを開催。現地の最新情報やエアライン情報などを紹介した。

札幌にタイの観光地が出現

タイマラソンの魅力をアピール 東京マラソンEXPOにブース出展

2月24日に開催された「東京マラソン2013」に先立ち、「東京マラソンEXPO2013」が2月21～23日の3日間、東京マラソンのゴール地点、東京ビッグサイトで行われた。TATは、エキスポにブースを出展。現地からは、ウィライワン・タウィッチシー・プロダクト担当副総裁が来日し、タイのマラソンの魅力について旅行会社、メディアを集め意見交換会を開催した。現在タイのマラソンは、ラグーナ・プーケット国際マラソンがエーアンドエーツアーやHISといった一部の旅行会社で商品化されているが、まだまだ知名度も低い。空前のマラソンブームとなっている日本で、タイでのマラソンをアピールし、誘客につなげたい考えだ。今年の主なマラソン大会は以下のとおり。

タイマラソンの魅力を語る副総裁

第8回	ラグーナ・プーケット国際マラソン	6月9日	プーケット
第21回	パタヤ・マラソン	7月21日	パタヤ
第26回	スタンダート・チャータード・マラソン	11月17日	バンコク
第8回	チェンマイマラソン	12月22日	チェンマイ

Column

バンコクホテル事情

バンコクのホテルと言えば、大きく分けるとチャオプラヤ川沿いの立地と、ショッピングセンターや観光地とのアクセスを重視した立地との2つに分けられる。

川面に映ったバンコクの夜景は美しい。アクセスに少々難はあるが、都会の喧騒から離れ、この美しい景色を眺めながらゆっくり旅の疲れを癒すことができる。その代表格がペニンシュラバンコクだ。言わずと知れた香港資本のインターナショナルチェーン。ホスピタリティーあふれるサービス、洗練された料理、品のあるアメニティー、部屋から見える景色も一級品。

バンコクのペニンシュラは、他国の同ホテルより比較的リーズナブルな価格で宿泊が可能。ちょっと記念日にラグジュアリーな滞在をしたいという旅行者におすすめしたい。また、ザ・ペニンシュラアカデミーでは、さまざまな体験プログラムを用意している。タイ家庭料理体験などが人気だ。

シティホテルは市内へのアクセスが良く、観光地やショッピングへ出かけやすいのが特徴だ。ノボテルバンコクプルンチットはBTSプルンチット駅前すぐ、スクンビット通りという絶好のロケーション。サイアムパラゴンやセントラルワールドといったバンコクで人気のショッピングセンターもBTSで簡単にアクセスが可能。便利な立地だ。

スタイリッシュでモダンな部屋のノボテルプルンチット

ペニンシュラバンコクからはチャオプラヤ川の美しい夜景が